

## 事項九 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

三三六 一月十四日 内田外務大臣ヨリ  
在長沙池水領事代理宛(電報)

湖南事件ニ関スル損害賠償交渉方ニ付指示並  
其ノ後ノ同交渉進行模様回電方訓令ノ件

第二号

十二月二十九日付機密第三八号貴信附屬乙号末段ニ関シ湘潭代理店ノ支那人及汽船水夫等ノ支那人ハ日本商ノ直接使用人ニシテ応サニ分別弁理スヘク荷主等ノ支那人損害ニ至テハ稍々鉅額ナルニ依リ支那官憲ヨリ査酌弁理スヘシ但シ日清汽船ニ累ヲ及ホザルヲ期シ別ニ相当ノ処置ヲ執ルヲ妨げズト記載シアル処元來當方ノ主張ハ往電第三九号ノ通り本來仮令支那人ノ損害ト雖モ性質上会社ノ直接損害ニ算入スヘキ筋合ナルモ右損害中支那人荷主ノ損害ニ付テハ日清汽船ノ査定額ヲ切実ニ考慮シ別ニ公正ノ処置ヲ講ズヘントノ保障ヲ取付ケ以テ損害賠償問題ヲ解決セムトセル趣旨ニ外ナラズ而シテ右ハ先方ニ於テモ承認セル旨貴電第一三一号ヲ以テ御来示ニ接シタル次第ナル処上記趙司令來翰ニ

依レバ先方回答ノ趣旨聊カ曖昧ニシテ我方主張徹底セザルノ嫌アリ殊ニ荷主損害ニ対シ日清汽船会社ノ査定額ヲ尊重スヘシトノ趣旨ヲ曖昧ニ付シ去レル感無キニ非ズクテハ将来問題ノ解決上論議ヲ滋カラシムルノ虞アルニ付テハ貴官ハ至急趙司令又ハ關係當局ニ会见ノ上貴電第一三一号當時ノ了解ト今般趙司令來信ノ趣旨ト聊カ相違ノ点アルヲ指摘シ瀬川總領事ト鼎座妥商ノ際ニ於ケル了解ハ代理店及水夫ノ損害モ我方ノ要求ニ応シ当然賠償スヘク只支那人荷主ノ損害ハ日清汽船ノ査定額ヲ切実ニ考量シ別ニ公正ノ処置ヲ講スヘシトノ趣旨ナリシコトニ就キ更ニ先方ノ確認ヲ求メ再応書面ヲ取付ケ置カレタシ尚損害賠償額ノ査定ニ付テハ其後着々商議進行中ナルヤ何分電報アリタシ  
北京漢口ヘ転電アレ

(註1) 日本外交文書大正九年第二冊下卷八一三文書

2 同右八一〇文書  
3 同右八一一文書

三三七 一月十六日 在中國小幡公使(内田外務大臣宛)(電報)

湖南事件ニ關シ熊秘書ハ西田通訳官ニ對シ外文總長ヨリノ陳謝ノ意表明ハ事件全部解決ト

同時ト致度旨等述べタル件

附 記 大正九年十二月二十五日内田外務大臣発在中国小幡公使宛電報第七四七号

第三一号

客年貴電第七四七号ニ關シテハ西田ヲシテ御電訓ノ趣旨ニ基キ熊秘書ニ交渉セシメ置キタル処

一月十四日熊ハ外交總長ニ確メタル上ナリトテ本件ハ如何ナル解決アリシカ大要御來談ニ依リ承知セルモ湖南地方官ヨリ未ダ報告ナキ為外交部トシテハ一應當該地方官憲ニ確ムルノ必要アルヲ以テ目下趙恒惕ニ問合中ナリ右ニ對シテハ未ダ返電ニ接セザル次第ナルガ顏總長ハ本使トノ会談ノ通本件全部ノ解決ト同時ニ中央政府ヨリ抱歉ノ意ヲ表示ス

ルコトニ致シ度ク然ラズシテ損害賠償等ニ關シ未決ノ儘ニ残シ置クコトヲ欲セザル次第付本件全部ノ解決案決定シタル上ニテ外交文ヲ發送致スベシト答ヘ將又損害賠償問題ニ關シテハ從来此種事件ニ伴フ損害賠償ハ寛城子事件等ノ

(附記)

大正九年十二月二十五日内田外務大臣発在中国小幡公使宛電報

第七四七号  
湖南事件大体解決セルニ付外交總長ヲシテ陳謝ノ意ヲ表セシムル様措置方訓令ノ件

第七四七号

長沙発大臣宛電報第一三(註)号ニ関シ各項共大体円満ナル解決ヲ得タルニ付テハ支那側予テノ言明通り此際直ニ顔総長ヲシテ陳謝ノ意ヲ表セシムル事ニ致度ニ付右可然御措置アリ度尚ホ往電第七三九号末段損害賠償ニ関スル貴官ノ御見込如何ニ拵テハ一応外交部當局ノ態度ヲ見極メラル様御配意アリタシ

漢口、長沙へ転電アレ

註 大正九年十二月二十二日長沙発内田大臣宛電報第一三一号

ニ付テハ日本外交文書同年第二冊下巻八一文書參看

三三八 一月十七日 在長沙池永領事代理ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

湖南事件解決条件中ノ弔慰金其他ノ金額ニ關

スル交渉内容報告ノ件

(一月十八日接受)

本十七日当地交渉員來訪予テ交渉中ナル大津弔慰金ニ関シ銀四万五千弗ノ要求ハ多額ナルヲ以テ容易ニ応ズル能ハズ岳州ニ於ケル米国宣教師殺害ニ関スル弔慰金ハ張敬堯ガ退却ノ際強制的ニ要求セラレ止ムナク承認シタルモ未ダ是ガ支払ヲ為サザルノ状態ニアリト主張セルモ當方ハ是ガ不当

在支公使漢口へ転電セリ

三三九 一月二十一日 在長沙池永領事代理ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

湖南事件弔慰金額ニ対シ中国側ヨリノ申出二

付報告ノ件

(一月二十二日接受)

昨二十日鄧工商課長交渉員ヲ代理シ來訪大津弔慰金ニ付速ニ解決シ度キモ當方ノ要求額過多ナルヲ以テ急ニ応ズル能ハザルハ遺憾ナリト述べ岳州ニ於ケル米国宣教師ノ弔慰金ハ未解決ナルガ民國七年奉天ニ於ケル邦人今井弔慰金ハ好個ノ寒例ナルヲ以テ是ニ照シ商議ヲ進行シテハ如何ト申込メリ當方ハ依然前提案ヲ主張シ置ケルモ是ガ解決ニハ猶多

少ノ曲折ヲ要スルナラン次ニ貴電第二号ニ關シテ重ネテ談及シタルニ客年十二月二十七日附總司令來信末段中至貨主等類華人損失ト以上係(二字不明)此次磋議之決定トノ間ヲ可就華人貨主之査定額切実斟酌別講公正之処置合再声明ト訂正シテハ如何ト同課長一個ノ意見トシテ提言セルモ本件ハ一応總司令トモ熟議スル旨答ヘタリ

二十一日在支公使漢口へ転電セリ

三四〇 一月二十五日 在長沙池永領事代理宛(電報)

湖南事件弔慰金額ニ關シ訓令ノ件

第三号

貴電第七号ニ關シ交渉員代理ハ奉天ニ於ケル邦人今井ニ対スル弔慰金ヲ好個ノ実例トシテ引用方主張セル趣ナル処右ハ奉天ニ於テ身分極メテ低キ小商人ガ支那官兵ノ為メ殺害

金品強奪ヲ受ケタル事件ニシテ張巡閱使ヨリ直チニ然カモ自發的ニ将来ノ保障犯人ノ死刑直屬長官ノ处罚謝罪並ニ弔慰金七千円ニテ解決方懇請シ来レルニ対シ其事態ニ照ラシ之ガ承認ヲ与ヘタルモノナルガ湖南事件ノ如キ慘虐且ツ重

大ナル事態トハ雲泥ノ相違アルノミナラズ被害者ノ身分ニ

ニ非ザル旨ヲ説明シ且其要求金額ヲ讓歩スル能ハザルヲ以テ更ニ篤ト再考スル様申入レ置ケリ尚貴電第二号ニ關シテモ談及シタルニ代理店及ビ水夫ノ損害ハ當方ノ要求ニ応ジ当然賠償シ唯支那人荷主ノ査定額ヲ切実ニ考慮シ別ニ公正ナル処置ヲ講ズベキコトハ既ニ書面ニテ發送シアルヲ以テ此上重ネテ書面送付ノ要無カラント主張シ容易ニ聞キ入ル模様ナカリシ尚引キ続キ交渉中

九 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

三四〇 三四一

湖南事件弔慰金額ニ付交渉経過報告ノ件

第一四号

(二月二十七日接受)

貴電第五号ニ關シ其ノ後引続キ交渉中ナル処先方ハ大津渡

四五三

害ハ無智ノ兵士等ガ張敬堯ナリト仮信シ誤殺シタルモノニシテ決シテ邦人ヲ殺害セントスル意志ニ出デタルモノニアザルヲ理由トシ殊ニ現下ノ湖南財政困難ノ実情ヲモ察セラレ當方主張ノ弔慰金要求額ヲ低減シ商議スル様仇交渉員度々來館懇談セルモ本官ハ予テノ御訓示ニ基キ終始一貫當方ノ要求額ハ決シテ不当ニアラズ公正ナル旨ヲ説明シ且ツ誤殺ト認メ難キ旨ヲ主張シ讓ラザルヲ以テ先方モ致方ナク此上ハ湖南目下ノ政態ニ照ラシ官民要路ノ衆議ニ依リ決スル外ナシト申シ居ル処當方ノ要求額ヲ飽ク迄主張スルニ於テハ遂ニ總司令モ自己ノ責任上之ヲ衆議ニ附スルノ已ムナキニ至リ其ノ結果交渉更ニ困難トナルヤモ計ラレズ將又同三号末段ニ閔シテハ貴電第二号ノ通り確認方要求シタルニ右ニ閔シ一応書面ヲ以テ照会スル様申込ミタルニ付回答アリ次第報告ス

在支公使ヘ転電シ在漢口總領事ヘ郵送セリ

三四一 三月五日 在長沙池永領事代理ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

湖南事件弔慰金問題ニ閔シ請訓ノ件

第一六号 (三月六日接受)

往電第一四号ニ閔シ昨四日交渉員ヲ訪問シ交渉シタルニ一、大津弔慰金ハ官民要路ノ衆議ニ依リ決セント準備中ナルヲ以テ之ガ決定スル迄待タレタシト述べ

二、同号末段ニ閔シ回答方督促シタルニ貴電第二号末段ニ於ケルガ如ク代理店及水夫等ノ損害モ我方ノ要求ニ応ジテ切実ニ考慮シ別ニ公正ノ処置ヲ講スヘキ事ヲ保証ストノ回答ハ体面上今後ニ於テ差支フルヲ以テ解決条件中第六項ハ之ヲ確認スルモ只支那人荷主ノ損害ニ至リテハ日清汽船ノ査定額ヲ切実ニ考慮シ別ニ公正ノ処置ヲ講スヘキ事ヲ保證ストノ意味ニテ回答セント代理店及水夫等ノ損害賠償ハ右第六項ヲ確認セハ自然之ヲ確認スル事トナルヲ以テ先方ノ体面上斯ク回答シ度旨主張セリ右ニ閔シテハ當方ノ要求通回答スル様努メシモ先方ハ体面上今後ニ差支フルト主張致シ居ル処如何取計可然ヤ御回訓ヲ乞フ

在漢口總領事ヘ郵送セリ

三四三 三月五日 芳沢亞細亞局長ヨリ  
在漢口瀕川總領事宛（電報）

湖南事件交渉善後措置等ニ閔シ意見回報アリ

タキ件  
必親展  
拝啓時下愈々御清適奉賀候  
陳者湖南事件ニ閔シテハ曩ニ兩度ニ亘リ御出張御尽力ノ結果幸ニ根本条件ノ解決ヲ見ルニ至リ寔ニ好都合ノ至リニ有之候處其後大津弔慰金及其他損害賠償金額等ノ具体的の商議ニ入ルヤ再ヒ支那側ノ態度頗ル誠意ヲ欠キ一向歩々敷進展ヲ見ザルハ迭次池永副領事ヨリノ転報ニ拵リ御了悉ノ通りニ有之右ハ或ハ同地地方官憲ノ地位未ダ確固ナラザルニ由於儀トモ被思料候得共此上渋滞久シキニ亘ルニ於テハ解決益々困難ニ陥リ延テ折角曩ニ協定ヲ見タル根本解決条件ニモ動搖ヲ及ボスノ虞無キニ非ズト懸念セラレ候處弔慰金額等ノ査定ニ付テハ何等力懇談妥商ノ途無之次第ナルベキヤ當方ニ於テハ池永副領事ノ交渉振ニ対シ特ニ兎角ノ意嚮ヲ有スル訣合ニハ無之候得共客年六月貴電第八九号ヲ以テ在長沙領事館ノ手不足其他内部ノ折合等ニ就キ御申添ノ次第モ有之旁々或ハ右等ノ関係上池永氏ニ於テ本件ノ交渉ニ全

力ヲ尽シ難キ等ノ事情伏在スルニ非ズヤトモ懸念致居候就テハ本件交渉善後措置竝ニ上記ノ懸念等ニ対シ此際貴官ノ

三四五 三月二十日 在漢口瀕川總領事ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）  
湖南事件交渉善後措置ニ閔シ意見稟申ノ件  
第二八号 (三月二十一日接受)

三月五日附亞細亞局長ノ來信ニ対スル卑見左ノ通り

湖南事件ノ根本条件既ニ解決シ居ルニ拘ラズ弔慰金及賠償金等具体的の解決ヲ見ルニ至ラザル所以ノモノハ支那人一流

ノ慣用手段ニシテ要求金額ヲ出来得ベキ丈値切り以テ自家ノ責任ヲ輕減セントスルノ魂胆ニ外ナラザルベシト信ズ池永領事ノ交渉振ニ付テハ別ニ間然スヘキ所ナシト雖モ老猾ナル長沙ノ官憲等ハ常ニ帝国領事ニ対シ十分ノ敬意ヲ払ハズ從テ交渉事件ヲ處理スルニ当リテモ兔角誠意ヲ欠キ事件ヲ曖昧模糊ノ裏ニ葬リ不知不識ノ間ニ其ノ責任ヲ免カレン

トスルノ感アリ之ガ為過去數年間ニ交渉事件ノ解決ヲ了セザルモノ積シテ數十件ノ多キニ達セリ故ニ今回ノ湖南事件ノ如キ若シ尋常一樣ノ態度ヲ以テ折衝スルトキハ彼等ハ直ニ從来ノ慣用手段ヲ用ヒ他ノ案件ト殆ンド同一運命ニ陥レシムルコトヲ保シ難シ湖南省ニ於ケル財政ノ困難ハ目下其ノ極度ニ達シ居ルモ本件ノ如キ重大事件ヲ處理スルニ当リ相当ノ金額ヲ支払ハザルベカラザルコトハ素ヨリ当然ノ事ニシテ之ニ対シテハ何人モ異議ヲ狭ムノ余地ナカルベシ然ルニ總司令ニ於テハ自ラ根本条件ヲ承認シナガラ官民要路ノ衆議ニ依リ決スルノ外ナシト云フニ至リテハ全然責任逃レノ遁辞トシカ思ハレズ就テハ前頭篤ト御考量ノ上池永領事ニ対シ相当ノ訓令ヲ与ヘラルルカ然ラザレバ本官ニ再ヒ長沙出張ヲ命ゼラル様致シタシ

ヲ曖昧模糊ノ裏ニ葬リ不知不識ノ間ニ其ノ責任ヲ免カレントスルノ感アリ之ガ為過去數年間ニ交渉事件ノ解決ヲ了セザルモノ積シテ數十件ノ多キニ達セリ故ニ今回ノ湖南事件ノ如キ若シ尋常一樣ノ態度ヲ以テ折衝スルトキハ彼等ハ直ニ從来ノ慣用手段ヲ用ヒ他ノ案件ト殆ンド同一運命ニ陥レシムルコトヲ保シ難シ湖南省ニ於ケル財政ノ困難ハ目下其ノ極度ニ達シ居ルモ本件ノ如キ重大事件ヲ處理スルニ当リ相当ノ金額ヲ支払ハザルベカラザルコトハ素ヨリ当然ノ事ニシテ之ニ対シテハ何人モ異議ヲ狭ムノ余地ナカルベシ然ルニ總司令ニ於テハ自ラ根本条件ヲ承認シナガラ官民要路ノ衆議ニ依リ決スルノ外ナシト云フニ至リテハ全然責任逃レノ遁辞トシカ思ハレズ就テハ前頭篤ト御考量ノ上池永領事ニ対シ相当ノ訓令ヲ与ヘラルルカ然ラザレバ本官ニ再ヒ長沙出張ヲ命ゼラル様致シタシ

第一四四号  
力アリタキ旨回訓ノ件

貴電第二八号ニ閲シ貴官ハ館務ノ都合ヲ見計ヒ長沙ニ出張ノ上迅速解決方御尽力アリタシ尚申ス迄モ無ク本件ハ從來他地方ニ起レル有触レタル被害事件トハ異ナリ相当地位アル者ノ虐殺帝国軍艦ノ砲撃等事態極メテ重大ナル案件ニシテ帝国政府ノ頗ル重視シツツアル問題ニ付池永ト協力ノ上嚴重先方ノ反省ヲ促シ速カニ我方正当ナル要求ヲ容レシムル様極力努力アリタシ

北京長沙ヘ可然電報アリタシ

三四七 三月二十九日 在長沙池永領事代理ヨリ  
内田外務大臣宛

湖南事件ニ於ケル賠償問題ニ付趙総司令トノ  
往復文書写送付ノ件

附属書一 二月二十五日附池永在長沙領事代理ヨリ趙湖  
南総司令宛往翰

二 三月二十六日附趙湖南総司令ヨリ池永在長沙  
領事代理宛返翰写  
(四月九日接受)

機密第一号  
大正十年三月二十九日

在長沙

領事代理 池永 林一 (印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

湖南事件交渉方ニ閲スル件

本件ニ關シ本件十三日附貴電第六号ヲ以テ御訓訓ノ趣拝承右ハ客月二十五日附ヲ以テ別紙甲号ノ通り趙総司令宛之力確認方照会致置候處今般別紙乙号ノ通り回答致來リ候間委曲ハ右ニテ御了承相成度此段申進候 敬具

本信写送付先 在支公使在漢口總領事

(附屬書一)

別紙甲号

二月二十五日附池永在長沙領事代理ヨリ趙湖南総司令宛往翰写  
大正十年二月二十五日

池永 林一

趙恒惕殿

九 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

三四七

三四六 三月二十八日 在漢口外務大臣ヨリ  
湖南事件ニ閲シ長沙ニ出張ノ上迅速解決方尽

内田外務大臣宛  
(電報)

力アリタキ旨回訓ノ件

四五七

致置候処別ニ異存無之候間右ニ対シ書面ヲ以テ更ニ御確認相成度此段照会得貴意候 敬具

(附属書二)

別紙乙号

三月二十六日附趙湖南總司令ヨリ池永在長沙領事代理宛返翰写

逕復者接准

台函備悉種是查前函對於解決条件第六条係基於磋商之決定以書面答復即末段所載一節亦係根拠磋商時之附加解釈特為申明原条綱領所載賠償損害並未提明日人或華人因是譚前總司令特声明華人不包含在内應由中國官署調查辦理嗣經

貴國総領事暨

貴領事統行磋商分別解釈謂湘潭代理店之華人及水夫等類華人係直接日商服務之人應分別辦理故前函乃有末段之聲明與原案毫無異意來函謂略有未能徹底之嫌自可仍照原案重言申明第六条主義上原案雖可承認但華人損害中貨主之損害可就日清公司之查定切実斟酌另講公正之處置相應函復 貴領事查照為荷此頌

日社

趙恒惕(印)

三四九

(四月十一日接受)

大中華民国十年三月二十六日

三四八 四月十日 在長沙池永領事代理ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

湖南事件ノ弔慰金ニ付趙總司令トノ会談内容

二関シ報告ノ件

昨日趙恒惕ト會見本月七日附貴電第八号御電訓ノ通り厳談シタルニ本件ハ自己(趙恒惕)モ頗る重大案件ト認メ既ニ重要根本条項ニ対シテハ承認シタル處大津弔慰金ノ要求額ニ対シテハ金額ノ過大ナルヲ以テ之ガ要求額ヲ讓歩セラルニ於テハ迅速解決ノ途アルモ然ラザレバ直チニ之ヲ承認スル能ハザルハ遺憾ナリ 湖南目下ノ政局ハ昔日ト異リ中央政府ノ命ヲ受クルニアラズ民意ニ依リ自治制ヲ施行シ省長ノ如キモ省議会ノ選挙ニ依リ改選スルノ状況ニアルヲ以テ弔慰金ノ如キモ其金額過大ナルニ依リ予メ省議会ノ意向ヲ確メ置クニアラザレバ財政窮乏ノ今日之ガ実行困難ナルヲ以テ今回之ヲ提議シタルモノニシテ右ハ内部關係ニ属シ決シテ对外關係上自己ノ責任ヲ回避セントスルニアラズ自己ノ責任上本件ヲ迅速解決

シタキコトハ大ニ望ム所ナリト、而シテ趙ノ右弔慰金ニ對スル主張ハ前電報告ノ通り奉天今井弔慰金ヲ引用シ一万元内外ヲ基礎トシ妥協セントスルモノナルニ當方ハ本年一月二十五日附貴電第三号ノ御電示ニ基キ我方要求額ヲ一步モ讓ラザルニ依リ目下行詰ノ状態ナルヲ以テ本月十日漢口發当地出張ノ筈ナル瀨川総領事着ノ上協議シ今一応當方ノ要求額ヲ主張シ已ムヲ得ザル場合ハ讓歩妥協スルニアラザレバ迅速解決ノ途ナキガ如シ 因ニ往電第一六号末段第六項ニ閔シ支那側來信等ハ去月二十九日附機密第一号ヲ以テ送附済 公使ヘ転電セリ

三四九 四月十二日 在長沙池永領事代理ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)  
大津弔慰金ニ関スル省議会ノ論調ニ鑑ミ趙總司令ニ申入レントスル警告振ニ付瀨川総領事ヨリ報告ノ件  
(四月十三日接受)

第二五号

瀨川総領事ヨリ左ノ通り

本官十一日夜長沙着十二日ノ新聞紙上ニ記載セル大津弔慰

ノ横暴ヲ憤リタル末結局本件ハ當該官憲ヨリ交渉ノ顛末ヲ聽取リ之ヲ審査員ニ附托スルコトニ決セリト

九 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

三四九

四五九

右ノ如ク湖南問題ハ今日ニ至リ一層ノ紛糾ヲ来シ居ルノ感アルガ故ニ本官カ趙恒惕ト会見ノ際先ツ本件ノ重大性ヲ説キ交渉問題ヲ省議会ノ審議ニ附スルコトノ極メテ不当ナルコトヲ説破スルト共ニ総司令タルモノ須ク全責任ヲ負ウテ之ガ解決ノ任ニ当ルベキコトヲ警告スル考ナリ在支公使ヘ転電セリ

## 三五〇

四月十四日 在長沙池永領事代理ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

## 大津弔慰金額ニ関シ趙総司令ト会談ノ模様報

## 告ノ件

## 第二七号

（四月十五日接受）

瀬川總領事ヨリ左ノ通り  
十三日午前十一時池永領事ト共ニ趙総司令ヲ訪問シ仇（交渉員）鄧（交渉課長）列席ノ上大津弔慰金ニ関スル交渉ヲナス本官ハ先ツ湖南事件ノ極メテ重大ナル問題ナルコトヲ説キ次テ本件ニ関スル當方ノ要求ハ總テ公平穏当ナルカ故ニ大津弔慰金ノ如キモ快ク我要求ヲ容レ速ニ他ノ条項ニ移ル様致度トノコトヲ述ヘタルニ総司令ハ弔慰金ハ固ヨリ仕払フヘキ考ナルモ四万五千元ト云フハ余リニ多キニ過キ湖

ル目ニ遭ヒタルモノナレハ其ノ死ハ洵ニ同情スヘキモ我兵士ハ最初ヨリ日本人タルコトヲ知リテ為シタルモノニ非サルカ故ニカカル冒險的行為ヲ為シタル日清汽船会社モ亦本件ニ関シテハ其ノ責ヲ負ハサルヘカラサルモノト信スト述ヘタリ依テ本官ハ大津ニ対シ弔慰金カ米国宣教師ニ対スルモノニ比シ少額ナルヘキ理由アラサルニ拘ラズ支那側ニ於テハ米国ハ軍艦ヲ以テ強硬的態度ニ出テタル為メ之ニ応シ日本ハ穩和手段ヲ以テ交渉ヲ為スカ故ニ之ニ應セサルカ如キ感アルハ頗ル了解ニ苦シム所ナリ加之趙総司令ハ本件解決ノ為メニハ自ラ全責任ヲ負ヒ其衝ニ当ラルヘキ筈ナルニ之ニ閔シ省議会ノ意見ヲ求メタルカ如キハ責任ヲ回避ゼントル行為ニシテ之カ為メ本件解決ヲシテ一層困難ナラシムルハ本官ノ最モ遺憾トル所ナリトテ支那官憲ノ誠意ナキヲ責ムルト同時ニ漸次新聞紙上ニ記載セラレタル事柄ヲ一々指摘シテ其ノ反省ヲ促シタルニ総司令ハ頗ル意外ノ感ニ打タレタルカ如キ顏色ヲナシ交渉員及交渉課長ヲ顧ミ暫時ノ間相談シタル末総司令ハ現在ノ湖南政局ハ一二民意ヲ尊重スルモノナレハ他ノ地方トハ其趣ヲ異ニシ別ケテ財政ニ閔スル事柄（脱）サルベカラザル仕組トナリ居ルヲ以テ

南現時ノ財政状態ニテハ到底之ヲ負担スルコト能ハサルカ故奉天ニ於ケル今井某ノ前例ニ照ラシ之ト同額ノ金員ヲ仕

払フコトニ致度シト答ヘタリ依テ本官ハ彼ト之トハ大ニ事情ヲ異ニシ且ツ大津ノ如キハ相当ノ地位ト教育トヲ有スル少壯有為ノ人ニシテ其ノ被害状態ノ如キモ極メテ残酷ニシテ其親戚朋友ハ言フニ及ハス之ヲ知ルト知ラサルトニ論ナ

ク均シク其不幸ヲ悲シミ其ノ慘状ヲ嘆カサルハナシ故ニ遺族ニ対シテハ恐ラク如何ナル金額ヲ以テスルモ之ヲ慰ム

ニ足ラスト雖モ當方ニ於テハ過分ノ要求ヲ為サスシテ十分査定ノ上四万五千元ト定メタル次第ナレハ宜シ此辺ノ事情ヲ察シ要求ニ応セラル様致度シト述ヘタルニ總司令ハ之ニ対シ四万五千元ト言ヘハ岳州事変ニ於ケル米國ノ要求額ト同一ナリト雖モ米國宣教師ハ自己ノ住宅ニ於テ殺害セラレタルモノナレハ其ノ曲全然我ニ在ルモ湖南事変ハ其當時同地ハ非常ナル混亂状態ニ陥リ居ルニ不拘大津ハ自ラ危険ヲ冒シテ同地ニ赴キ遂ニ不慮ノ災難ニ罹リタルモノナレハ米國宣教師ノ例ニ依ル能ハスト述ヘ交渉員モ亦其當時湖南ニハ外国人ノ旅行ヲ差止メアリシニ不拘日本汽船ハ自ラ危険ヲ冒シテ同地ニ赴キ大津ハ張敬湯ト誤マラレテ悲惨ナ

單ニ其ノ支出スヘキ金額ニ關シ諮詢シタル次第ナルモ其ノ議事ヲ新聞紙上ニ記載スルコトハ不穩當ナルニ付早速差止めシムル様取計フヘシト述ヘ交渉員モ亦同様ノ事ヲ繰返シタリ此時既ニ午後二時ヲ過キ總司令ハ他ニ種々用事ヲ扣ヘ居ルヲ以テ本日ハ之ニテ失礼シ明日交渉員ヲ領事館ニ遣シ更ニ御協議セシムヘシト述ヘ右ニテ散会シタリ昨年六月南北混戰ノ際支那官憲ヨリハ帝国領事ニ對シ外国人ヲシテ戰地ニ赴カシメザル様予メ警告シ領事モ亦帝国臣民ノ戰地ニ旅行スルコトヲ差止メタルニ拘ラズ日清汽船ニ於テハ武陵丸ヲ回航セシメタルモノナレバ支那側ニ於テモ遂ニ前述ノ如キ議論ヲ持チ出シ当日交渉ノ一問題トナリタルモノナリ在支公使ヘ転電セリ

## 第二八号

（四月十六日接受）

三五一 四月十五日 在長沙池永領事代理ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

大津弔慰金ニ関シ中國側トノ交渉内容報告並  
金額ニ付多少斟酌ノ余地アルベキ旨稟申ノ件

## 瀬川總領事ヨリ左ノ通り

十四日午後会同仇交渉員ハ鄧課長ト共ニ領事館ニ來リ弔慰

金ノ事ニ関シ交渉ヲ開ク

先方主張ノ要点ハ即チ「大津自ラ危険ヲ冒シテ戰地ニ赴キ此災難ニ遭過シタルコト」大津ノ加害者ハ何等訓練ナキ土匪ノ類ニシテ日本人ト支那人トノ弁別サヘモ為シ能ハザリシモノナルコト四目下湖南省ニ於ケル財政ハ到底多額ノ弔慰金ヲ支払フベキ余裕ナキコト右ノ理由ニ依リ帝国政府ニ於テモ此出来事ハ決シテ故意ニ日本人ヲ殺害スヘキ意思ニ出デタルモノニ非ザリシコトヲ篤ト諒察ノ上弔慰金モ出来得ベキ丈輕キ程度ニ於テ取計ハルル様希望ストノコトヲ縷々陳述シタル処本官ハ之ニ対シ一通リノ抗議ヲ為シ置キタルモ元來總司令ノ既ニ確認セシ根本問題ニ溯リ交渉員ト深ク論議スルノ必要ヲモ見ザルニ依リ我要求額ハ確乎タル標準ニ基キ算出シタルモノニシテ決シテ不当ノモノニ非ズ本件ノ如キ重大事件ガ両国ノ国交上ニ何等影響ヲ及ボスコトナクシテ些少ナル弔慰金ニ依リ穩便ニ解決スルコトヲ得ルハ両国ノ幸福之ニ過ギザルコトニシテ仮リニ斯ノ如キ不幸ナル事件ガ日本内地ニ發生シタリトセンカ支那国民ハ如何ニ激昂シ支那人ハ如何ナル要求ヲ為スヤ知ル可カラズ湖南當局者タルモ

相談ノ上改メテ御挨拶スペシット答ヘタリ時ニ午後五時半交渉員ハ別ルニ臨ミ明日本官及池永領事ニ晚餐ヲ差上ゲタシト語リタルニ依リ之ヲ承諾ス鄧課長ハ密カニ本官ニ語リテ曰ク本件ニ關シ總司令ガ省議会ニ諮詢シタルハ大失態ニシテ却ツテ之ガ解決ヲシテ困難ナラシムルモノナリ趙總司令ハ純然タル武人ニシテ譚延闡ノ如ク政治上何等経験ヲ有スルモノニ非ザルガ故ニ昨日談判ノ際ニモ如何ニ答弁スベキヤニ苦ミ遂ニハ汗ヲ流シ充分口ヲキクコトサヘ出来ヌ様ニナレリ云々ト本官ノ見ル所ヲ以テスレバ前日來支那側ニ於テモ專ラ主張スル日清汽船会社ガ戰地ノ狀況ニ在ル湘潭ニ船ヲ遣リタルコトハ頗ル冒險的ノモノナルコト又大津ヲ殺害シタルモノハ万一或兵士ニ非ズシテ斯ル混亂ノ場合ニハ當國ニ於テハ有リ勝ナル土匪若クハ無賴漢ノ所為ナリトノコトニ対シテハ一応ノ抗議ト弁明ヲ為シ置キタリト雖モ

聞ク所ニ依レバ其當時湘潭ニハ多量ノ避難貨物倉庫内ニ堆積シアリタル為武陵丸ハ危險ヲ冒シテ右積取ノ為同地ニ赴キタルモノナリトニテ若當時ノ日清会社出張員ニシテ少シク慎重ノ態度ニ出デシナランニハ斯ル時機ニ於テハ決シテ汽船ヲ遡江セシムヘキ筈ノモノニ非ズ尙本官ノ経験

ノハ宜シク此点ニ想到シテ我要求額ノ決シテ不当ナラザルコトヲ了解セラルベシ而シテ目下湖南省ニ於ケル財政狀態困難ナルガ故ニ此金額ヲ支払フコト能ハズト云フナラバ其弁法ハ幾ラモアルベシト思考ス現ニ張敬堯時代ニ於テ日本商人ニ負フ所ノ銅ノ壳掛代金ノ如キモ其額二百万両ニ近キニ拘ラス漸次支払フノ途ヲ立テ居ルニ非ズヤ若シ四万五千元ヲ一時ニ支払フコト能ハズト云フナラバ之ガ支払法ハ更ニ協議スルモ可ナリト述べタルニ交渉員ハ小声ニテ自分一人ノ考ニテハ一萬元位ナラバ支出シ得ベシト信ズト述べタルニ依リ本官ハ四万五千元ノ要求額ニ対シ一萬元支払フトハ到底其相談ニ応ズル能ハズトテ此金額ハ自分ノ一了見ニテハ一厘タリトモ減少スルコト能ハズト答ヘタルニ交渉員ハ之ニ対シ支那側ノ立場ヲモ洞察シテ此ノ趣意ヲ一応本官ヨリ帝国政府ニ電稟スルコトハ相叶ハズヤト懇請シタルニ依リ本官ハ此査定金額ヲ動カスコトハ到底困難ナリト信ズルニ付若シ一万元ニテ其解決ヲ求メントスルニ於テハ之ヲ電報スルコト能ハズト雖モ我要求額ノ幾分ヲ減少シテ貢ヒタシトノコトナレバ試ミニ政府ニ電稟シテ其指揮ヲ仰グモ可ナリト述ヘタルニ交渉員ハ其好意ヲ謝シ何レ總司令ト

ニ依レバ廣東ニ於テ第一革命ノ時先発隊トシテ到着シタルモノハ土匪及無賴漢ノ類ニシテ何等節制ナキモノ多キヲ占メタリ故ニ交渉員ノ云フガ如ク大津ヲ殺シタルモノハ訓練ナキ土匪ノ類ナリトハ強チ先方ノ遁辞ノミニハ非ザルヘシト信ズルガ故ニ此二点ニ於テハ先方ノ主張ヲモ充分考慮ノ上弔慰金額ニモ多少斟酌ヲ加フルノ余地アルモノト思考ス右御参考迄  
在支公使ニ転電セリ

三五二 四月十九日

在長沙池永領事代理ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

湖南事件ニ關シ中國側ハ新ニ二名ノ交渉委員  
ヲ選定シテ右交渉ニ參加セシムルコトトシタ

ル旨報告ノ件

(四月二十日接受)

瀕川總領事ヨリ左ノ通り

八

先日來再三総司令ニ面会シ十四日協議ノ結果ヲ述ヘテ本件  
協調ニ努メタルモ到底自分ノ力ニテハ本官ヲシテ満足セシ

ムヘキ丈ノコトハ出来兼ヌルニ付總司令部執法処々長蕭光  
禮及省長公署交渉股長楊宣誠ノ兩人ヲモ委員トシテ本件交  
渉ニ参与セシムルコトナシタル処右本官ニ於テ異存ナキ

ヤ蕭ハ法律上ノコトニ闕シテハ常ニ総司令令顧問トナリ核  
ニ便宜ヲ得ルコト少カラザル次第ニテ総司令モ既ニ承認シ  
ニ日英両国ノ語ニ通シ嘗て浦潮ニアリテ日本官憲トモ交際ス  
シタルコトアル人ナレバ右兩人ノ参与ハ本件交渉ノ進行上  
タリト依テ本官ハ之ニ付テハ別ニ差支ナキモ本件ニ闕スル  
全責任ハ趙総司令ノ負フヘキモノナルニ付本官ハ今後トモ  
總司令ト直接談判シ蕭楊両官ハ貴官ト共ニ常ニ總司令ヲ補  
佐シテ本件ノ解決ニ尽力セラルル様致シタシト述ヘタルニ  
交渉員ハ本件ハ今後日日連続的ニ会見シテ議事ヲ進行セシ  
メタキ考ナルモ總司令ハ今般省長ヲモ兼任スルコトナリ  
タルヲ以テ一層多忙トナリタル故自分等三名ニテ總司令ヲ充  
代表シ會議スルトキハ却テ議事ノ進行モ速ナルヘシト語リ  
タルニ依リ本官ハ兎モ角總司令ヲシテ我意思ノアル所ヲ充

ノ態度ヲ改ムルニ非ザレバ妥協ニ応ジ難キ旨

第九号

貴電第二七号及第二八号ニ閔シ支那側カ依然トシテ大津ノ  
惨殺ヲ以テ土匪ノ所為ナルガ如キ強辯ヲ敢テシ武陵丸ノ溯  
江ヲ以テ自ラ危険ヲ冒セルモノナリトシ責任我方ニ存スル  
ガ如キ遁辞ヲ弄セルハ甚タ不都合ニシテ畢竟已ニ協定ヲ遂  
ゲタル根本条項ヲモ無視セムトルモノト謂フベク全然誠  
意無キモノト断ゼザルヲ得ズ湖南ノ政局尚安固ヲ欠キ殊ニ  
其ノ財政状態ニ闕シテハ当方ニ於テモ一応之ヲ諒トセザル  
ニ非ズ從テ弔慰金其ノ他ノ賠償金モ場合ニ依リテハ分割支  
払等好意の妥協ヲ計ルニ躊躇セザル内意ナルモ先方ノ態度  
ニシテ上述ノ通リナル以上斯ル妥協ニ応ジ難キコト勿論ニ  
付其辯御如才無カルベキモ右ノ御含ヲ以テ此上共極力折衝

在支公使へ郵報アリタシ

在長沙池永領事代理ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

九 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

趙總司令ヨリ中国側新交渉委員ノ紹介アリ且

三五四

三五三

四六四

ト困難ナルヘシト信ズルニ依リ明日總司令ニ会見シ貴官及  
蕭楊ノ両君モ之ニ列席セラル様致シテハ如何ト述ヘタル  
ニ交渉員ハ明日ハ午前十時ヨリ省長兼任ノ就任式アルニ依  
リ總司令ノ都合ヲ問合セタル上何分ノ返事ヲナスヘシト答  
ヘタリ当十八日ハ省議会ニ於テ本件ノ審査委員会ヲ開ク筈  
ニテ交渉員ノ出席説明ヲ求メタル由ナルモ交渉員ハ出席セ  
ザリシトノコトナリシヲ以テ之ニ閔スル意見ヲ聞キタルニ  
交渉員モ亦今日ニ至リテハ本件ヲ議会ニ諮問シタルコトノ  
不得策ナリシコトヲ悟リ居ルモノノ如シ聞ク所ニ依レハ仇  
交渉員モ鄧交渉課長モ譚延闡派ノ人ニシテ趙恒惕トハ往々  
意見ノ合ハザル所アルヲ以テ趙ノ信任セル蕭楊両人ヲ参加  
セシムルトキハ其責任モ軽クナルト同時ニ當方ノ意思ヲ總  
司令ニ貫徹スルニ却テ好都合ナリトノ魂胆ヨリシテ遂ニ右  
両人ヲ委員ニ選定シタルモノナラント思惟セラル  
在支公使ヘ転電セリ

三五三 四月二十日 内田外務大臣ヨリ  
在長沙池永領事代理宛（電報）

交渉ノ迅速田満解決ヲ望ム趣意ヲ述べタル件  
第三〇号  
(四月二十三日接達)

瀬川總領事ミリ左ノ通川

一  
十  
日

員鄧科長ハ不在ニテ初メノ間ハ黃一歐同席シ次テ執法処長蕭光禮交渉股長楊宣誠ノ兩人來リテ同席セリ總司令ハ蕭楊ノ兩人ヲ紹介シテ曰ク大津氏ノ事件ニ付テハ自分ハ非常ニ多忙ナルヲ以テ今回特ニ両氏ヲシテ交渉ノ任ニ当ラシムルコトトナリタルニ付今後ハ万事此ノ両氏ト協議アランコトヲ望ムト本官ハ之ニ答ヘテ本件交渉ハ両国ノ親善ノ為一日モ速ニ解決ヲ希望シ居ルニ拘ラズ毫モ進捗ノ模様ナキハ本官ノ遺憾トスル所ナリ本件ハ根本問題ハ業已ニ解決シ居ルヲ以テ双方誠意ヲ以テ事ニ当ルトキハ全部ノ解決ヲ見ルコト素ヨリ困難ナルヘキ筈ナシ蕭楊ノ両君ガ今後此ノ交渉ニ關係セラルルコトニ付テハ先般交渉員ヨリモ伝聞シタルニ依リ本官ニ於テハ別ニ異議ナキ旨ヲ答ヘ置キタリ就テハ総司令ニ於テモ本件ヲシテ速ニ円満ニ解決セシムヘキ様篤ト両君ニ訓令シ置カルル様致シタシト述ヘタルニ總司令ハ是迄自分ハ多忙ノ為屢々面会スルコトモ出来ズシテ甚々失礼

四六五

シタルモ今後ハ此ノ両氏カ万事自分ニ代リテ交渉ノ任ニ当

ルコトトナリタルヲ以テ予メ場所ト時ト定メ連続的ニ本

件ヲ交渉セラルルコトヲ得ベシ日支両国ノ親善ノ為本交渉

ノ速ニ円満ニ解決センコトハ素ヨリ同感ニシテ此ノ趣意ヲ

既ニ両氏ニモ能ク話シ置キタリト答ヘタリ依テ本官ハ其ノ

席上ニ於テ蕭楊両人ト種々打合セラ為シタル處両人ハ明日

更メテ領事館ニ來リ万事協議スヘキ旨答ヘタルニ依リ本官

ハ會議ノ場所ト時間サヘ定マラバ明日ヨリ交渉開始スルモ

可ナラズヤト云ヒタルニ両氏ハ孰レ交渉員トモ相談ノ上其

ノ結果ハ電話ニテ報告スヘシト答ヘタリ楊ハ海軍留学生ト

シテ曾テ日本ニ在リ且ツ昨年中浦潮ニ出張シ居タルヲ以テ

我松平菊池ノ両氏ヲモ能ク承知シ居ル由ニテ日本語ハ極メ

テ流暢ナリ今後此ノ両氏カ本交渉ニ参加スルトキハ當方ノ

趣旨モ能ク貫徹シテ本件交渉ノ進行上ニハ却テ好都合ナラ

ント信ズ

在支公使ヘ転電セリ

### 三五五 四月二十三日 在長沙池永領事代理（電報）

#### 湖南事件弔慰金ニ関スル新交渉委員トノ討議

ノ模様報告ノ件

（四月二十四日接受）

第三一号

瀬川總領事ヨリ左ノ通リ

二十二日午後三時交渉員公署ニ於テ會議ヲ開ク当日ハ蕭楊

ノ両委員専ラ交渉ノ任ニ当リ仇交渉員ハ出席セズ只鄧科長

ノミ出席シタルモ殆ンド傍聴者タルガ如キ態度ヲ採レリ右

ノ如ク今回新ナル委員ト交渉ヲ始ムル事トナリタルニ付本

官ハ新委員ニ対シ一応本件ニ關スル顛末ヲ陳ブルノ必要ヲ

感ジ開会ノ始メニ於テ

（）本件ハ重大ナル問題ナル事

（）本件ニ対スル要求ノ極メテ公平穩當ナル事

（）四万五千元ノ弔慰金ハ根拠アル計算法ニ依リ算出シタル

モノナル事ヲ逐一説明シ支那委員ニ於テモ宣シク我ガ意志

ノアル所ヲ充分諒解シ誠意ヲ以テ事ニ当リ總司令ノ訓令セ

ル迅速解決趣旨ニ悖ラザル様尽力アラン事ヲ希望スル旨陳

ヘタルニ蕭委員ハ（）大津ノ死ハ誤殺ナリシコト（）大津ヲ殺

シタル者ハ土匪同様ノ者ナリシコト（）弔慰金ノ性質ハ賠償

金ト異ナルガ故ニ支那側ニ於テ隨意決定スベキモノナルコ

ト四湖南省財政困難ノタメ多額ノ支出ヲ許サザルコト（）湖

南省民ハ本件ノ成行ヲ承知シ居ルガ故ニ漫リニ日本ノ要求

ヲ容ルル時ハ人民ノ反感ヲ買フノ虞アルコト等ヲ縷々辯明

シテ本件ノ要求額ノ多キニ失スル事ヲ弁駁シ結局一萬元内

外ニテ解決スルノ希望ヲ陳べタルニ依リ本官ハ根本問題ニ

立入り再び論争スルコト好マズト雖モ今回支那側ニ於テ

委員ヲ変更シタルモ畢竟迅速解決ノ精神ニ基キタルモノナ

レバ新委員ノ頑迷ヲ破ルニ非ザレバ到底円満ナル解決ヲ望

ムベカラズト信ジタルヲ以テ（）大津ノ死ハ誤殺ニ非ザルコ

ト（）大津ヲ殺シタルハ官兵ニシテ土匪ニ非ザルコト（）支那

兵ノ不法行為ニ依リ殺害セラレタル者ニ對スル弔慰金ハ當

然當方ノ査定額ヲ標準トスルコト（）如何ニ財政ニ困難ナル

モ一省ノ政府トシテ四、五万ノ金額ヲ負担シ能ハザル理由

無キコト（）交渉問題ノ衝ニ当ル者ハ双方共ニ須ク其責任ヲ

以テ処決スペキモノニシテ人民ノ反感云々ノ事ハ独リ支那

側ノミニ限リタルモノニ非ザルコト（）逐一弁駁シテ支那委

員ノ反省ヲ促シタルニ蕭ハ再び前言ヲ繰返シ其ノ言フ所甚

ダ杜撰多キヲ以テ本官ハ此ヲ糺問シタルニ右ハ劉思九及郭

良泉ノ調査報告ニ基ケル旨答ヘタルニ依リ本官ハ郭等ノ報

告ハ何等信ヲ置クニ足ラザルモノニシテ當地交渉ニ於テ當

民ノ激昂モ甚ダシキガ故ニ大津氏ノ死ハ誠ニ悼ムベキモ四

万五千元ヲ贈ル事ハ甚ダ困難ナルニ付前述ノ事情ヲ窺ト酌

ミ取リ一万元内外ノ額ニテ速カニ解決スル様取計ヒアリタ

シト述べタル処鄧科長ハ此ノ問題ニ付テハ先般総領事ト交

渉員トノ間ニ協議ヲ遂ゲタル処總領事一己ノ考ニテハ一文

タリトモ減額スル事能ハザルモ相當ノ理由ノ下ニ於テ幾分

ノ減額ヲ望ムナラバ一応政府ニ電報シテ其ノ指揮ヲ仰クベ

ント話サレタル事アリト陳ベタルニ蕭ハ忽チニシテ然ラバ

本件ハ一万元ニテ解決スペキ様政府へ稟申アリタシト請求

シタルニ依リ本官ハ断然之ヲ拒絶シテ曰ク前ニモ陳ベタル

通リ本件要求金額ハ確實ナル根拠ニ基キ査定シタルモノニ

シテ容易ニ此ノ額ヲ動カスベキモノニ非ズ然ルニ四分ノ一

ニモ足ラザル金額ニテ解決セントスルハ到底不可能ノ事ニ

シテ若シ之ニテ解決ノ出来ルモノナラバ疾クノ昔ニ解決シ

居タルナルベシ然レドモ若シ右金額ノ幾分ヲ減額シタシト

ノ事ナラバ當方ニ於テモ妥協ノ精神ヲ以テ一応政府ニ電票

シ其ノ指揮ヲ仰グ事トスルモ可ナリト答ヘタルニ蕭楊ノ両

員ハ委細ノ状況明日總司令ニ報告シ篤ト考慮ノ上返答スベ

キ旨ヲ約シ五時半散会ス次回ノ会合ハ月曜日午後三時ト定

ム

在支公使ヘ転電セリ

三五六

四月二十四日

在長沙池永領事代理ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

弔慰金四万五千弗ノ内五千弗ヲ別枠トシ且日

清汽船損害賠償問題ト一括商議方ニ関シ請訓

ノ件

第三三号

(四月二十五日接受)

大津弔慰金問題ニ関シ極力折衝中ナルニ目下ノ処當方ノ要  
求額ヲ承認セシメ迅速解決スルコト容易ナラザルヲ以テ瀕  
川總領事トモ協議ノ上下記ノ通り交渉振轉換ノ要アリト思  
考スル処右ニ閲シ何分ノ儀御電訓ヲ乞フ

(一)目下ノ処當方要求額銀四万五千弗也ヲ先方ヲシテ承認セ  
シムルコトハ容易ナラザルヲ以テ客年九月五日付往電第八  
二号ヲ以テ電報セル間接損害ノ(一)ノ二項計七千四百七弗  
十六仙ノ内五千弗ヲ直接損害第一項ニ加算シ大津弔慰金ヲ  
四万五千弗トシ此ノ内四万弗ハ遺族ニ贈リ五千弗ハ日清汽  
船会社ノ支払ヒタル葬儀其他ノ費用ニ充ツル考ナリシヲ今  
回右五千弗ニ対シ同会社当地出張所ヲシテ附屬書類ヲ作成

セシメ客年九月十日付機密第二六号附屬被害表第二項間接  
損害中ニ一項ヲ加ヘ掲記シ合計銀二三、三九三弗〇三仙ト  
シテ要求シ右五千弗ヲ弔慰金中ニ含マシメザルコト但支那  
側ニ対シテハ依然四万五千弗ヲ主張スルコト

(二)弔慰金問題全部解決ニ先チ日清汽船会社一般損害賠償問  
題ノ協議ニ移リ右弔慰金ト一括商議スル方却テ交渉上利益  
ナラント思考セラルルコト

在支公使ヘ転電セリ

三五七

四月二十七日

在長沙池永領事代理ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

湖南事件弔慰金若干減額スル私案ニ関シ請訓

ノ件

第三五号

(四月二十八日接受)

瀬川總領事ヨリ左ノ通り

二十六日午後六時池永ト共ニ總司令部ニ至リ趙恒惕ニ会見  
ノ上總司令が今回本件ヲ迅速ニ解決セントスルノ趣意ヲ以  
テ特ニ蕭楊ノ両君ヲ委員ニ選定セラルニ関ラズ依然之迄  
ノ態度ヲ固持シテ少シモ融通ノ途ヲ開カレザルニ於テハ到  
底本件ヲ迅速ニ解決スペキ見込ナン蕭楊両委員ヨリ既ニ御

困難ナル状態ニ対シ同情ノ念ヲ以テ努メテ寛大ナル措置ヲ  
執ラルルノ一事アルノミ此点宜敷衍了察ヲ請フト本官ハ之  
ニ答ヘテ若シ此金額ガ日本政府ノ収入トナルベキモノナレ

バ総司令ノ述ベラレタル点ハ十分考慮スルノ余地アルモノナルモ大津ノ遺族ニ対シテハ支那側ニ於テモ亦深甚ナル同情ヲ表セラルベキ咎ナリ蓋シ其遺族ハ四万五千元ハ早晚領収シ得ラルモノト確信シ從テ之ヲ眼當ニ葬儀万端ノ後始末等モナシタルコトナラン然ルニ全ク協定額ヲ無視シテ四分ノニモ足ラザル額ヲ以テ強テ承認ヲ求メラルハ之本官等ノ立場ヲ益々困難ニ陥レシムルモノナリト語リタルニ總司令ハ湖南省ニ於テハ目下何事モ人民ノ意思ニ從ヒ行動セザルベカラザルガ故ニ他ノ各省ノ如ク地方官ノ独断ニテハ何事モ決行スルコト能ハズ此点宜敷御了察ヲ請フト本官ハ何レニシテモ一万元ニテハ到底本件ヲ解決スルノ見込ナシ其理由ハ前日來再三述ベタル所ノ如シト断言セシニ總司令モ頗ル難色アリテ何レ此ノコトハ更メテ委員ヨリ御協議スペシト答へ当日ノ會議ハ之ニテ終リ別室ニ於テ準備ノ食卓ニツキ總司令部員及日本留学生出身「ピングジントー」ト晚餐ヲ共ニシ九時頃帰館セリ

本官ノ見ル所ニテハ到底我要求金額ヲ承諾セシムルコトハ困難ナルニ付先方ヨリ一万元以上相当ノ金額ヲ増加シ来ラザル限りハ此際寧ロ恩恵的ニ帝国政府ハ湖南現時ノ財政状況モ貴重シテハ勿論也然ルヘキカト思料ス其辺篤ト瀕川総領事トモ御協議ノ上方違算無キ様御措置アリタシ  
北京へ郵報アリタシ

第一号

貴電第三三号中弔慰金問題解決ニ先チ日清汽船損害賠償ヲモ一括商議方ノ件ハ貴地實際ノ情形上好都合トセラルニ於テハ貴見ノ通り取計ハレ差支無キモ右損害賠償ニ付テモ種々論議ヲ醸スヘキハ必定ナル處之カ為メ延テ弔慰金問題ヲモ一律停頓セシムルノ虞無シトセズ旁々先以テ弔慰金査定ノ目鼻ヲ付クルコト然ルヘキカト思料ス其辺篤ト瀕川総領事トモ御協議ノ上方違算無キ様御措置アリタシ  
北京へ郵報アリタシ

三六〇 五月四日 内田外務大臣ヨリ  
在長沙池永領事代理宛（電報）  
弔慰金額ヲ輕減シ得ザル理由説示竝我方ノ要  
求通り承認セシメラレ度旨回訓ノ件  
第一三号  
貴電第三六号ニ閲シ支那側ガ大津弔慰金額ヲ輕減セントスル第一ノ理由ハ依然土匪ノ行為ナリト強弁スルニ胚胎スル如クナル處右支那側ノ主張ガ全然詭弁ニ過ギザルハ今更架説スル迄モナク貴官ノ報告ニ依リ明カナル通リナリ然ルニ支那側ガ米国宣教師殺害事件ニ対シ四万五千元ヲ承認シ乍

態ノ困難ナルニ鑑ミ總司令ノ願望ヲ容レ弔慰金ノ若干（本官ノ考ニテハ二萬元内外）ヲ減少シ以テ本件ヲ速カニ解決すべき様訓令アリシトノ下ニ當方ヨリ解決ノ道ヲ開ク外ナカルペシト信ズ就テハ右ニ閲シ至急何分ノ御電訓ヲ請フ在支公使ヘ転電セリ

三五八 四月二十九日 内田外務大臣ヨリ  
在長沙池永領事代理宛（電報）

#### 弔慰金ニ関シ分割交付ノ方法ニ依ルコトトシ 解決方回訓ノ件

第一〇号

貴電第三五号ニ閲シ湖南財政ノ現状ハ左ルコト乍ラ弔慰金額ヲ半減スルガ如キハ容易ニ承諾シ難ク旁々差当リ前電ヲ以テ申進シタル通り不得已ムバ分割交付ノ方法ニ依ルコトトシテ我要求額ヲ容レシムル様極力折衝アリタシ  
北京へ郵報アレ

三五九 四月二十九日 内田外務大臣ヨリ  
在長沙池永領事代理宛（電報）

#### 弔慰金及日清汽船損害賠償両問題一括商議方 稟申ニ対シ回訓ノ件

第一三〇号

ラ大津弔慰金ニ対シ事情ノ異ナルニ藉口シ僅々一万二千元ヲ唱フルハ不当ノ甚シキモノニシテ元ヨリ彼ト此トハ多少其事情同ジカラザルガ如キモ故ナク虐殺ヲ敢テセルノ一事ハ同一ニシテ寧ロ大津殺害ノ惨虐ハ米国宣教師ノ夫レ以上ニシテ其責任全然支那側ニアルニ付テハ尚篤ト支那側ニ対シ右ノ諸点ヲ指摘シ強硬ニ論駁ヲ加ヘラレ支払ノ方法ハ兎モ角弔慰金額ハ主義上我方要求通り承認セシムル様此上共極力接衝ヲ遂ゲラレ度シ  
北京へ郵報アレ

三六一 五月四日 内田外務大臣ヨリ  
在中國小幡公使宛（電報）

#### 湖南事件交渉ノ成行電報方ノ件

貴電第三一号ニ閲シ本件交渉其後ノ成行電報アリタシ

三六二 五月十三日 内田外務大臣ヨリ  
在長沙池永領事代理ヨリ  
日清汽船会社ノ湖南事件被害表中國側ニ交付

附属書 右湖南事件被害表並大津書記殺害関係其ノ他諸

九 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件 三六〇 三六一 三六二

機密信第一九号

(五月二十三日接受)

大正十年五月十三日

在長沙

領事代理 池永 林一 (印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

費用写

日清汽船会社ノ湖南事件被害ニ関スル件

湖南事件被害表並大津書記殺害關係其ノ他諸費用写

(附屬書)

本信写送付先在支公使

本件ニ関シ客月二十四日附往電第三三号ヲ以テ支那側ニ交渉便宜上日清汽船会社ノ提出セル湖南事件被害表(大正九年九月八日當館ノ認証セルモノ)ヲ更ニ増補訂正致度旨申進置候處今回別紙之通り右書類支那側ニ交付致置候条此段

報告申進候 敬具

湖南 被害 事件表	第一項 大津來徳弔慰金	四五、〇〇〇弗〇〇
	計 四五、〇〇〇弗〇〇	
第二項 会社損害	1 同上弔慰金	四五、〇〇〇弗〇〇
計 四五、三五二弗六一		
2 武陵丸船内被害	1 同上弔慰金	四五、〇〇〇弗〇〇
A 掠奪備品 一二、四三〇弗七二	2 武陵丸船内被害	一二、四三〇弗七二
B 壳上船客運賃 一、〇二七、〇〇		一、〇二七、〇〇
C 高級船員私有品 六、六五六、一四		六、六五六、一四
3 湘潭倉庫備品 九三三、〇〇		九三三、〇〇
4 設備損害 八五九、二〇		八五九、二〇
A 武陵丸修理 二〇、一一三弗八六	4 設備損害	二〇、一一三弗八六
B 湘潭倉庫修理 六〇七、一〇〇		六〇七、一〇〇
5 各船防弾設備費 六、九八四、六九		六、九八四、六九

第三項 使用支那人損害	6 各船湘潭過航中止損害 二、五七一、八四
計 九、五八九弗一二	7 常徳線欠航滞船料 八、八三六、五〇
	8 大津書記殺害關係其他諸費用 五、〇五三、五二
	9 武陵丸下級船員損害 五、五〇九、四四
	10 湘潭代理店及店員 一、七五四、四五
	11 岳州 九八二、八五
	12 城陵磯 一、〇四二、三八
第四項 荷主損害	13 蓬萊丸火夫孟小田負傷慰籍料 三〇〇、〇〇
計 六六、七二二弗四九	14 湘潭倉庫保管輸入荷物掠奪損害 四、八八九、八〇
	15 輸出 六一、八三三、六九
総計銀 一六六、六六四弗二三	総計銀 一六六、六六四弗二三

大津書記殺害關係其ノ他諸費用

一、遣骸收拾ノ為蓬萊丸湘潭過航費 一二〇弗〇〇

一、同上森主任及李買弁湘潭出張費 三六、〇〇

一、長沙ニ於ケル葬儀諸費用 三四四、九六

一、同上葬儀ノ際蓬萊丸使用料 五〇、〇〇

一、同上 可仁丸使用料 三〇、〇〇

一、遺骨受取リノ為東京本社ヨリ水田書記

門司迄出張旅費 八二四二八

一、東京本社ニテ

九 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件 三六二

四七三

支出弔祭料 三〇円〇〇〔二一六、〇〇〇〕 六三九換 一、五七九、七九  
特別弔祭料 二〇〇、〇〇〇  
四友会〃 二〇〇、〇〇〇  
一、武陵丸遭難後船員一同ニ応急食料支給 六三、〇〇  
一、蓬萊丸使用料

六月十一日ヨリ一十二日迄使用料  
此内十七日二十二日ノ兩日ヲ除ク  
十日間一日三十弗

一、可仁丸使用料同上

一、武陵丸高級船員遭難見舞品

一、同 下級〃

一、電報料（長沙漢口分）

（東京本社分）八九円七六 一四〇換

合 計

五、〇五三、五一

三六三 五月十六日 在長沙池永領事代理ヨリ

内田外務大臣宛（電報）

湖南省政府ハ日英米三国領事ヲ窮民救濟大会

ノ名譽会長トシ度趣ヲ以テ賛同ヲ求メタル件

第四二号

（五月十七日接受）

本十六日楊文浩署長來館語リタルトコロニ拠レバ湖南省安

化體陵兩県ハ戰禍ノ為飢饉甚シク一万余人ノ窮民ハ同地方ニ於ケル富豪ノ邸宅ニ押掛ケ酒食ヲ敢テシ又湘西ノ大部及保靖県地方ハ昨年ノ水災並米密輸出アリタル為米価暴騰シ窮民多ク慘状ヲ極ムルヲ以テ今回省米ノ輸出ヲ禁止シ一方義捐金ヲ募集スル為救荒大会ヲ開キ趙恒惕ヲ會長ニシ日英米三国領事ヲ名譽会長トシタキ旨ヲ以テ賛同ヲ求メタル処英國領事ハ同意ヲ表シタル趣ナルヲ以テ小官モ不取敢同意シ置ケリ

在支公使ヘ転電セリ

三六四 五月二十七日 在中國吉田臨時代理公使ヨリ  
内田外務大臣宛（電報）

湖南事件ニ關シ外交總長トノ会談内容報告ノ

第三九五号

（五月二十八日接受）

貴電第二三〇号ニ關シテハ瀬川總領事ノ長沙出張等地方ニ於ケル交渉中ノ事情モアリ中央政府ニ對スル交渉ハ時々督促スル位ニテ其儘トナリ居リシガ五月十一日本官外交總長ニ會見ノ節本件ニ言及シタル處同總長ハ湖南省トハ漢口ニ於ケル代表者ヲ介シテ督促シ且ツ同代表者過般北京ニ来リ

タル際成ルベク至急解決方注意シ置キタルモ其後未ダ回答ニ接セザル次第ナルガ今日迄地方的ニ如何ナル程度ニ進行セルヤ承知シタキ旨申述ベタルニ付本官ハ瀬川總領事二回モ長沙ニ出張シ略ボ双方ノ意見接近シ居レル模様ナルモ主要事項タル大津賠償金額ニ關シ趙総司令ガ本件ノ如キヲ省議会ニ諧リ甚シキハ壹万幾千元ニテ解決セントノ意向ヲ洩スガ如キ誠意ヲ欠ケル仕打チノ為行惱ミトナリ居レリ現ニ岳州ニ於ケル米國宣教師ノ被害ニ対シ四万五千円ヲ仕払ヒタリトノコトナルニ大津ノ殺害セラタル狀態ハ右米人ニ比シ更ニ悲慘ナルニ鑑ミ尠クトモ該額ヨリ以上ノ賠償アルベキコト当然ニテ日本側ノ要求額ハ妥当ナリト認メラル又本件ニ關スル中央政府ノ陳謝公文ハ全部解決ノ上実行ベシトノ事ナルモ本件ノ如キ重大事件ノ余リニ遷延スルハ我當局トシテモ看過シ能ハザル所ニシテ寛城子事件ノ先例モアリ至急該公文ノ發送方取計アリタキ旨申入レタル処同總

長ハ本件ニ關シ大津賠償額以外ノ各項ハ如何ナル程度ニナリ居レルヤ承知致シタク將又中央政府ノ公文發送ニ付テハ

寛城子事件ノ解決當時自分在任セザリシ為其辺ノ詳細手続一応取調ノ上考量スペク自分トシテハ此種事件ハ成ルベク

アリ至急該公文ノ發送方取計アリタキ旨申入レタル処同總

長ハ本件ニ關シ大津賠償額以外ノ各項ハ如何ナル程度ニナ

リ居レルヤ承知致シタク將又中央政府ノ公文發送ニ付テハ寛城子事件ノ解決當時自分在任セザリシ為其辺ノ詳細手続一応取調ノ上考量スペク自分トシテハ此種事件ハ成ルベク

ノ上解決方決定スト主張セリ右ニ関シ本一日交渉員ヲ訪問聞糺シタルニ交渉署ニモ趙総司令ヨリ共同調査スヘキ旨訓令アリタル処小官ハ是迄当地ニ於テ折角交渉進捗中ノモノヲ支那内乱ニ伴フ他ノ損害事件ト同様共同調査ノ上外交部ニ報告ノ後解決スヘキモノナルヤ否ヤニ関シテハ一応政府ノ訓令ヲ俟タザルベカラズト答ヘ置ケリ尚交渉員ハ本事件弔慰金ノ仕払並損害賠償モ財政困難ノ当省ニアリテ解決スルヨリハ北京ニ於テ解決スルヲ希望スル旨附言セリ

在支公使ニ転電シ在漢口總領事ヘ郵送セリ

三六六 六月六日 在漢口瀬川總領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

### 湖南事件ノ交渉手続ニ関スル陳交渉員意見報

#### 告ノ件

第六一号 (六月七日接受)

本官ハ六日陳交渉員來訪ノ際湖南事件ノ交渉手續ニ関シ意見ヲ質シタルニ其答フルトコロ左ノ如シ  
自分が母ノ喪ニ当リ郷里ニ滞在中外交總長ハ日本代理公使ヨリ湖南事件ノ急速解決方ニ関シ交渉アリタルニ依リ長沙ニ至リ本件ノ真相並ニ交渉ノ経過ヲ調査シテ報告スペキ旨

三六七 六月十四日 内田外務大臣ヨリ  
在長沙池永領事代理宛(電報)  
日清汽船被害ヲ共同調査二附セントスルハ正  
当ノ根拠ナキ旨湖南政府當局ニ説示方訓令ノ  
件

#### 第一四号

貴電第四六号ニ関シ内乱ニ伴フ損害ニ関スル共同調査トハ

貴官ヘモ通報済ノ筈ナル大正八年五月十九日付在支公使発

本大臣宛機密第二一六号來信附属外交部宛照會冒頭ニ記載

アル如ク其ノ當時以前ニ於ケル内乱ノ損害ニ関スルモノニシテ外国人一切ノ被害ニ関シ適用セラルベキモノニアラズ本件ノ如キハ右内乱トハ全然別個ノ問題ナルノミナラズ已ニ支那側ニ於テ損害賠償ノ責任ヲ認メ单ニ金額ニ付テノ商議ヲ剩スニ過ギザル本件ヲ更ニ週ソテ共同調査ニ付セントスルガ如キハ畢竟之ニ依リ徒ニ事態ヲ遷延セシメ場合ニ拠テハ本件解決ノ責ヲ体ヨク免レムトスル魂胆ニ過ギズト認メラルニ付テハ趙恒惕其ノ他關係當局ニ対シ両者混同ノ理由ナキコト並ニ斯カル口実ニヨリ責ヲ免レムトスルハ誠意ナキコトヲ指摘シ先方ノ痛切ナル反省ヲ促サレ度尚本件

解決方ニ付顔外交總長ト在支公使トノ間ニ多少詰合進行中ノ次第ハ御承知ノ通リナルモ何レニセヨ弔慰金損害額等ハ貴地ニ於テ確定ヲ要スル次第ニ付其ノ辺御含ノ上此ノ上共最善ノ努力ヲ尽サル様致度シ  
在支公使ニ転電アリタシ

#### 第一四号

三六八 六月二十日 在長沙池永領事代理ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

湖南事件被害賠償交渉ニ關シ報告ノ件

#### 第五四号

(六月二十一日接受)

本月十四日附貴電第一四号拝承御訓示ノ通り先方ノ反省ヲ促シ置ケリ去月十三日附機密第一九号往信ヲ以テ進達セル日清汽船会社提出湖南事件被害増補訂正表ハ本二十日当地交渉員ト会合種々商議シタル結果先方ハ右表中1ノ弔慰金ハ後廻ハシトシ2ノA、C、3、4、9、10ハ主義上承認シ賠償金額ノ多少ニ関シテハ更ニ協議スルコトトシ2ノB、即チ売上ヶ船客運賃11、12、13ハ再考ノ上協議スルコトトシ5、6、7、8ハ到底承認スル能ハズト主張セリ依テ小官ハ再考ノ分並不承認ノ分ニ対シテハ更ニ次回ニ商議スル旨約シ置キ引取レリ

在支公使ニ転電シ漢口へ郵送セリ

三六九 六月二十六日 在長沙池永領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

湖南事件被害賠償二関スル交渉経過報告ノ件

附記 湖南事件被害賠償交渉現状

第五六号

(六月二十六日接受)

往電第五四号ニ閔シ本二十五日交渉員訪問交渉シタルニ2

ノB 売上船客運賃ハ金錢上ニ閔スル被害ナルヲ以テ更ニ帳簿其他ノ証拠書類ニ依リ審査ノ後決定シ5、6、7ハ之ガ

危険ヲ避ケン為講ジタル此種間接損害ニ閔シテハ何レノ国ヘモ未ダ賠償シタルコト無ク到底之ヲ承認スルコト能ハズ

ト、8、大津書記ノ殺害後始末其他ノ諸費用ニ閔シテハ会社モ危険ヲ冒シ航行シタルヲ以テ此種損害ハ会社モ其負担ヲ免カル能ハザルヲ以テ之亦到底承認スル能ハズト、

11、12ハ後廻トシ13ハ主義上賠償ヲ承認セリ尚客年九月十八日付機密第二十九号往信附屬別紙第一回交渉中ノ〔戴生

昌湘潭事務室内ニ於ケル掠奪事件並内田洋行被害事件ニ

閔シテモ交渉シタルニ前者ハ被害金額モ少キヲ以テ主義上賠償スルコトヲ承認シタルモ後者ハ其要求金額九千八百六

十二元ニシテ多額ナルヲ以テ容易ニ承認セズ再考スルコト

トシ次回ハ當館ニテ協議スルコトヲ約セリ

在支公使ヘ転電シ漢口へ郵送セリ

(附記)

湖南事件被害賠償交渉現状(亞細亞局第一課)

(大正十年六月二十六日現在)

第一項

1、大津弔慰金 四五、〇〇〇 後廻シ

第二項

2、A武陵丸内掠奪備品 一二、四三〇

主義上承認  
金額ハ更ニ協議ノコト

B 売上船客運賃 一、〇二七

帳簿等ニヨリ  
審査ノ後決定

C 高級船員私有品 六、六五六

主義上承認  
金額ハ更ニ協議ノコト

3、湘潭倉庫備品 九三三 同上

4、武陵丸及湘潭倉庫修理 八五九 同上

5、各船防弾設 六、九八四

第三項

6、各船湘潭上航 二、五七一 不承認

9、武陵丸下級船員被害 五、五〇九 同上

7、常徳線欠航滞 船料 八、八三六

10、湘潭代理店及店員 一、七五四 同上

11、岳州代理店及店員 九八二 後廻シ協議

12、城陵磯代理店及店員 一、〇四一 同上

13、蓬萊丸火夫負傷手当 三〇〇 同上

主義上承認

(第二項)

5、各船防弾設 六、九八四  
備費四  
6、各船湘潭上航 二、五七一 不承認

間接損害ニシテ  
支那トシテ從來  
斯ル損害ヲ賠償  
シタル前例ナシ

7、常徳線欠航滞 船料 八、八三六

湘潭上航ハ会社  
湘潭上航ハ会社  
ガ自ラ危険ヲ冒  
シテ敢行セルモ  
ノナリトシテ不  
承認

8、大津殺害關係 五、〇五三 不承認

シタル前例ナシ  
メタルコトヲ主張シ内田洋行被害事件ハ先づ日清汽  
船ノ損害賠償ヲ査定シタル後ニ査定セムト主張シタル処小  
官ハ右ハ小官一個ノ意見ニ依リ決定スル能ハザルニヨリ大  
臣(脱)兎ニ角交渉ノ進捗ヲ計ル為此等未決定事項ハ次回  
ニ譲リ既ニ承認シタル細目ニ閔シ賠償要求金額ノ承認ヲ求  
メタルニ先方ハ之ガ要求金額ノ通リ承認スル能ハザルヲ以  
テ一応右ニ閔シ支那側査定額ヲ提出シ次回ニ於テ協議シタ  
キ旨主張シ閉会ス

右ニ閔シ今日迄ノ交渉経過ニ依リ見ルニ5、6、7、8ハ

支那側ラシテ承認セシムルコトハ困難ニシテ11、12ハ本件  
交渉中ヨリ引離シ別ニ交渉スル外ナキヲ以テ今後ハ5、

6、7、8ハ暫ク懸案トシ1、2、3、4、9、10、13並

内田洋行被害事件ヲ主義上承認セシムル上同事件及戴生  
昌湘潭事務室ニ於ケル掠奪事件ニ閔シ被害者提出ノ賠償要  
求金額ノ通リ支那側ラシテ承認セシムルニ努力スルモ結局

第五八号

(七月八日接受)

三七〇 七月七日

在長沙池永領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

湖南事件賠償金額二関シ中國側ト協議内容報  
告ノ件

九 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

三七〇

四七九

ハ多少ノ讓歩ヲ為スニアラザレバ容易ニ解決セザルモノト  
思考セラル  
北京へ転電シ漢口へ郵送セリ

三七一 七月二十一日 在長沙池永領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)

湖南事件日清汽船会社被害細目ニ関シ中国側  
査定額提出並之ニ対スル商議模様報告ノ件

第六〇号 (七月二十二日接受)

往電第五八号ノ通り既ニ承認シタル日清汽船会社被害細目  
ニ関シ支那側査定額ヲ提出シ来リタル處、2 A 掠奪備品ハ  
当方査定額ノ三掛即チ三、七二九、一四六、B ハ証拠書類  
ノ提出ヲ待タズ当方査定額ノ通り承認、C 高級船員私有品  
ハ現金ハ当方査定額ノ通り衣類ハ四掛貴金属類ハ五掛即チ  
三、〇五六、九五〇、3、湘潭倉庫備品ハ四掛即チ三七  
三、二〇〇、4、毀損損害ハ四掛三四三、六八〇、9ノ武  
陵丸下級船員損害ハ四掛即チ二、一〇三、七七〇、10ノ湘  
潭代理店及店員ハ四掛即チ七〇一、七八〇、13ハ後廻ナリ  
之ニ就キ先方ノ査定方針理由ハ

一、現金ハ当方提出ノ通り承認スルコト

当ナルニ付再考方ヲ趙総司令ニ促シタル件

第一二四号 (八月二日接受)

長沙発貴大臣宛電報第六八号

当地ヨリ発電方池永領事ヨリ依頼アリタルニ依リ電報ス  
七月二十九日趙総司令ヲ訪問

一、湖南事件ニ關シ

先方ノ提出セル損害賠償査定額ハ不当ニシテ交渉員トノ商  
議ノ余地ナキヲ以テ再考ヲ促ガシタル処同司令ハ慎重再考

ノ上統テ交渉員ヲシテ商議セシム可キ旨答ヘタルニ依リ此  
際速決方督促シ置ケリ

二、客年ノ湖南事件ニ顧ミ今回湖北方面ニ出陣セル兵ハ給

料不渡ノモノナレバ勢掠奪等不法行為ヲ敢行スルヤ量り難  
キヲ慮リ前年ノ如キ不法事件ノ再発ヲ予防スル為同司令ニ

出先軍隊ニ邦人ノ生命財産ノ保護ヲ確実ニスル様下命方警  
告シ且ツ為念客月公表セラレタル支那政争ニ対スル帝国政  
府ノ方針ヲモ説明シ本邦船舶ノ射撃並不法臨検ヲ為サザル  
様警告シタルニ同司令ハ客年ノ事件ニ鑑ミ此種不法事件  
再発ノ予防方法ヲ講ジ外人保護ニ關シ注意シ居ル旨答ヘタ  
リ

九 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ日本側被害一件

三七三

二、品物ハ使用中ノモノナルヲ以テ当方提出額ノ四掛若ク  
ハ五掛トスルコト尤モ2ノA 掠奪備品ハ会社ノ損害ニシ  
テ武陵丸モ危険ヲ冒シ被害地ニ赴キタルヲ以テ多少責任  
ヲ負担シ他ノ個人ノ私有品ト異リ且ツ多額ナルヲ以テ三  
掛トシタルモノナリ

三、毀損損害ハ四掛トスル(脱)リ  
依テ小官ハ右ニ対シ当方査定ノ正当ナル事ヲ説明スルト共  
ニ之ヲ反駁シタルニ結局財政困難ノ現状ニ同情セラレタキ  
旨懇望シ聞キ入ルル模様ナシ昨二十日引続キ交渉員訪問商  
議シタルモ前同様進捗セザルヲ以テ此上ハ趙恒惕ト一応商  
議スル積ナリ  
当地政局ハ何時如何ナル変化ヲ來タスヤ計ラレズ之ガ変動  
ヲ見ルニ於テハ本件ノ交渉ハ益々困難トナルベキヲ以テ此  
際讓歩スペキハ之ヲ讓歩シ迅速解決スルヲ得策ナリト思考  
ス  
在支公使漢口總領事ヘ転電セリ

三七二 八月一日 在漢口瀕川總領事ヨリ  
内田外務大臣宛(電報)  
湖南事件ニ関スル中國側損害賠償査定額ハ不  
件實行問題及趙自身ノ陳謝方法ニ付請訓ノ件  
第七八号 (十月二十七日接受)

湖南事件中日清汽船会社ノ損害賠償ニ関シテハ本年七月二

十一日附往電第六八号ノ通り先方ノ主張ヲ拒ゲザルヲ以テ  
当方モ之ガ要求通り固持シ讓ラザル処當地交渉員ノ談話其  
他ニ依リ見ルニ趙恒惕及右一派ハ、廣東ヨリ湖南ニ出兵湖  
北討伐ノ噂高ク湖北吳佩孚亦之ニ応ゼントスルノ勢アルヲ  
以テ、到底現状ヲ維持スルコト困難ノ模様アリ結局趙ハ逃  
亡スル外ナカラント察セラル処若シ現時大局ノ急転スル  
ニ於テハ客年十一月二十五日貴電第四〇号ノ通リ右解決<sup>(註1)</sup>  
条<sup>(註2)</sup>

件中(五)及(六)ノ協定目鼻付キタルヲ待ツテ以外ノ各項ヲ実行スルハ困難ヲ來スコトト思考セラルル處如何取計可然ヤ又四ハ趙恒惕自ラ書面ヲ以テ我艦隊司令官ニ領事館經由陳謝ノ意ヲ表セシメテ可ナルヤ至急何分ノ御回電アリタシ  
北京漢口ヘ転電セリ

註1 日本外交文書大正九年第二冊下巻八一二文書

2 同右七九五文書附屬書ノ別紙及七六六文書ノ別電参照

三七四 十一月八日 内田外務大臣ヨリ  
在長沙池永領事宛 (電報)

解決条件ハ各項不可分トシテ取扱フベキ壬金額ニ付テハ相当減額シテ急速解決方回訓ノ件

第二二号

貴電第七八号ニ閲シ本件解決条件中(五)及(六)以外ノ各項ハ何レモ形式的条項ニ過ギズシテ實質的ニハ左シテ重要ノ意義ヲ有スル次第ニ無之ノミナラズ此際政變ヲ見越シテ之等ノ条項ノミヲ實行シ去ルトキハ政變ノ有無如何ニ拘ラズ(五)及(六)ハ結局有耶無耶ニ葬リ去ラルノ虞アリ旁々右解決条件各項ハ常ニ不可分ノモノトシテ取扱フヲ得策ト認メラルルニ付右ニ御承知相成度尤モ弔慰金及損害賠償ノ額ニ付テハ

ノ上趙恒惕ノ陳謝其他解決条件各項実行ニ着手ノコトト致度旨稟申ノ件

第八一号

(十一月十八日接受)

往電第七八号ニ対シ貴電第二二号ノ趣拝承時局ハ其後多少沈靜シタル感アルヲ以テ此際御電示ニ基キ大津弔慰金ハ洋銀二万弗迄引下グル心組ニテ尚日清汽船会社ノ損害ハ同社

出張員ト協議シ便宜減額スル考ニテ交渉シ解決ノ上ハ書面ヲ取り付ケ直ニ右解決条件中(五)及(六)以外ノ各項実行ニ着手セント思考スル処差向キ右条件中(三)ハ趙恒惕自ラ當館ニ來リテ陳謝ノ意ヲ表セシメ四ハ主要部隊指揮官差支ノ場合ハ趙恒惕ヲシテ吉田司令官ニ當館経由書面ヲ以テ陳謝ノ意ヲ表セシメント思考ス尚客年九月十八日附機密往信第二九号添付別紙記載ノ第一回交渉中(一)戴生昌掠奪損害賠償(五)内田洋行損害賠償ハ一応前記大津弔慰金及日清汽船損害賠償ト共ニ右賠償要求金額ヲ協議決定スル考ナルモ交渉上ノ都合ニ依リテハ之ヲ後廻シトシ前記ノ通り主ナル事件即チ大津弔慰金及ビ日清汽船損害賠償ヲ決定シ直ニ解決条件中ノ弔慰金並ニ第二回交渉中(二)四等ハ勿論後廻シトス

員負傷弔慰金並ニ第二回交渉中(三)伏見兵

從來飽迄我方ノ要求ヲ固執スルノ態度ニ出デタル處趙恒惕ニ於テハ已ニ主義上我要求ヲ承認シ大津弔慰金ハ壹万二千円迄折合ヒ居ル次第ナルニ一度政變ニ遇ヒ権力者ノ交替ヲ見ルガ如キコトアラムカ本件交渉ノ又々行惱トナルベキハ予料ニ難カラザル所ニシテ可相成ハ寧ロ此際出来得ル丈讓歩ヲ試ミ大津弔慰金ハ之ヲ二万円位ニ切下ゲ損害賠償モ成ルヘク減額シテ速カニ解決スル方得策ナルヤニ思考セラルニ付右ノ趣旨ニ依リ日清汽船会社側ノ意向ヲ確メタル處同社ニ於テモ之ニ同意ヲ表シ大津弔慰金ニ付テハ同社ニ於テモ右ニ異存ナク尚同社ノ賠償要求額ニ閲シテハ同社責地出張員ヲシテ貴官ト協議ノ上出来得ル丈減額セシムル旨申出デタルニ付テハ右ニ御含ノ上政變ヲ見ザル内急速解決スル様更ニ一段ノ努力ヲ試ミラレタク尚又不幸ニシテ本件解決ニ至ラザル内ニ政變ヲ見ルニ至リタル場合ハ直ニ次ノ権力者ニ向ツテ本件交渉ヲ開始スル様心懸ケラレタシ

右北京漢口ヘ転電アリタシ

三七五 十一月十六日 在長沙池永領事宛ヨリ  
内田外務大臣ヨリ (電報)

大津弔慰金及日清汽船損害賠償金ヲ協議決定

ル考ナリ右了承ヲ請フ  
公使漢口ヘ郵送セリ

三七六 十一月二十七日 在長沙池永領事宛 (電報)

湖南事件早急解決交渉ノ次第二閲シ回訓ノ件

第二三号

貴電第八一号ニ閲シ大津及日清汽船以外ノ損害賠償ハ全部前者ノ分ト同時ニ一併解決スルコト望マシキモ之ガ為メ却テ大津及日清汽船ノ分迄解決ノ遷延ノ虞アルニ於テハ之ヲ他日ニ譲ルコト已ムヲ得ザルモ第一回交渉ノ(一)ノ損害ハ(一)ノ日清汽船会社ノ分ト殆ソド同様ノ性質ナレバ(一)ヲ承認セシメタル上ハ之亦承認セシムルニ難カラズト思料セラルノミナラズ(一)トノ振合上可成此際一括シテ解決致度キニ付右ニ御承知相成度ク尚解決条件(五)以外ノ各項ハ往電第二二号ノ趣旨ニ依リ全部ノ損害賠償ノ交渉解決ヲ見タル上ニテ最後ニ実行セシムルコト致度シ

右北京漢口ヘ転電アリタシ

三七七 十一月二十八日 在長沙池永領事ヨリ  
内田外務大臣宛

## 湖南事件ニ関スル交渉經過二付報告ノ件

附屬書一 八月十八日附池永領事ヨリ趙湖南總司令宛總第十号写

右件解決方督促ノ件

二 十月二十九日附池永領事ヨリ趙湖南總司令宛總第十号写

書翰写

三 十一月二十一日附趙湖南總司令ヨリ池永領事宛書翰写

右件ニ関スル督促ニ対シ回答ノ件

機密信第三一号 (十二月八日接受)

大正十年十一月二十八日

在長沙 領事 池永 林一 (印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

湖南事件ニ関スル交渉並ニ大津弔慰金交渉

ニ関スル件

本件ニ關シテハ貴電第一二号ヲ以テ御電訓ノ次第モ有之大

(附屬書一)

甲号写

総第十号

大正十年八月十八日

池永 林一

趙恒惕殿

二、内田洋行被害

右ハ大正九年八月十日附ヲ以テ被害状況説明書並ニ被害

明細書貴方ニ送附済ナルモ為念更ニ別紙ノ通り被害明細

書送附可致候

三、戴生昌湘潭事務室被害

(別紙) 右ハ曩ニ被害明細書ニ依リ貴方ト商議シタルモノ

白猪羣掠奪被害明細書 (於湘潭日清公司椎棧)

内 訳

一、銀九仟八百六拾貳元正

被害銀額

品名	品名	品名	品名	H N 90	荷印	番号	種別	数量	每单 一斤	価格	小計
三五	三五	三三	三三	三一	三一	番号	種別	数量	每单 一斤	価格	小計
四五	四五	三五	三五	三五	三五	番号	種別	数量	每单 一斤	価格	小計
吉合	吉合	吉合	吉合	吉合	吉合	番号	種別	数量	每单 一斤	価格	小計
七六、 吉合	七六、 吉合	七六、 吉合	七六、 吉合	五四、 五五	五四、 五五	番号	種別	数量	每单 一斤	価格	小計
五三、 八八	五三、 八八	五三、 八八	五三、 八八	三六、 八八	三六、 八八	番号	種別	数量	每单 一斤	価格	小計
一、〇四、 〇〇											

一、日清汽船会社被害

右ハ曩ニ被害状況説明書並ニ被害明細書貴方ニ送付済

九 湖南地方ニ於ケル南北両軍間抗戦ノ際ノ日本側被害一件

三七七

津弔慰金ハ銀式万元マテ引下ヶ日清汽船会社損害モ当地同社出張員ト商議ノ上相当減額讓歩スル心組ニテ交渉ヲ繼續セント思考致居候處曩ニ両湖戦争ニ際シ湖南側戦利アラザリン為メ政局ニ変動ヲ來サンコトヲ慮リ其際之が必要ヲ認メ別紙甲乙号写ノ通り本件至急解決方督促致置候處右書面ニ対シ今般別紙丙号写ノ通り回答致來リ候依テ小官ハ不取敢大津弔慰金ニ関シ交渉スル為メ去二十五日大津慘殺當時ノ写真ヲ携帶シ趙恒惕ヲ訪問慘殺状況ヲ写真ニテ説明シ其ノ当方ノ同意スル能ハザル旨申入レタルニ先方ハ前回度々報告ニ及ブト同一事ヲ主張シ且一萬元支出ハ省議会ノ決定スルトコロニ有之如何トモスル能ハザル旨ヲ述べ容易ニ之ガ弔慰金増額ノ模様ナキヲ以テ更ニ先方ノ熟考ヲ促シ引取り申候次第ニテ仮令銀式万元也ニ引下ゲ解決セントスルモ目下ノトコロ困難ナルガ如ク思考セラレ候

尚別紙丙号写先方ノ回答文中内田洋行被害事件ニ關シテモ反駁スル考ニ有之候右此段報告申進候 敬具  
本信写送付先 在支公使在漢口總領事

四八五

HN 91	"	"	"	"
三元 三元	五、五、五	五、五、五	五、五、五	五、五、五
精撰 乱鬃	六、五、五	六、五、五	六、五、五	六、五、五
貲	四、吾、六	四、吾、六	四、吾、六	四、吾、六
五、三〇	二、九、八〇	二、九、八〇	二、九、八〇	二、九、八〇
	一、一〇、八〇	一、一〇、八〇	一、一〇、八〇	一、一〇、八〇
	五、三〇、八〇	五、三〇、八〇	五、三〇、八〇	五、三〇、八〇
	五、三〇、八〇	五、三〇、八〇	五、三〇、八〇	五、三〇、八〇
	二、九、六〇	二、九、六〇	二、九、六〇	二、九、六〇

計 捨件一、五三〇斤

九、八六二、〇〇

右大正九年六月十一日湘潭日清公司椎棟ニ於ケル被害明細

書ニ御座候也

大正九年七月八日

右 内田雅夫

收到内田洋行

猪棕柴件

連長沙報裝出口此拠

六月中

八号湘 日清公司收条

逕復者接准八月十八日

台函關於湘潭事件解決条件中第五条第六条事項要求額速為承認解決等因查第五条之弔慰金送經磋商並派專員與

貴領事賡統談判業經承認為壹万元本總司令個人亦致送貳千元第六条之會社損害亦經交涉員與

貴領事迭次商弁分別刪減酌定数目旋因湘鄂間戰事發生談判中止因是久未答復深用歉然本總司令對於此案深願誠意相商速謀解決良以要求金額過鉅不得不根拏事實理由酌量情形要

拝啓陳者ニ貴方御承認ニ相成候湖南事件解決条件中第五条第六条ニ基ク弔慰金並ニ損害賠償ニ関シ當方ノ慎重審査條第六条ニ基ク弔慰金並ニ損害賠償ニ關シ當方ノ慎重審査出有案應俟查明另案酌弁專此奉復順頌

(附屬書二)

乙号写

(本書ハ御指図ニ従ヒ何時ニテモ提出仕可候)

（附屬書三）  
丙号写  
趙恒惕殿

在長沙

池永 林一

ノ結果已ニ貴方ニ提出セル損害要求額ノ承認方本年八月十八日附書面ヲ以テ及照会候處今ニ何等御回答無之ハ甚々遺憾トスルトコロニ有之候条至急何分ノ御回答有之度此段重テ及照会候 敬具

大正十年十月二十九日

在長沙

池永 林一

求減讓現之所議第五条第六条之數実已再三斟酌在此範囲以外外礙難再行增加務請  
貴領事転達

貴國政府諒解此意俾資從速解決來函附開内田洋行被害之件此事當時既未提出況湘潭非通商口岸照約内地不能開行營業該項損失未便承認弁理又戴生昌事務室被害之件當時既經提出有案應俟查明另案酌弁專此奉復順頌

日祉

趙恒惕啓 十一月二十一日

(右和訳文)

拝復陳者八月十八日附貴信ヲ以テ湘潭事件解決条件中第五条第六条ニ関シ貴方要求額承認ノ上至急解決方御申越ニ相成拝承致候查スルニ第五条ノ弔慰金ハ屢々商議シ並ニ専員ヲ派シテ貴領事ト談判ヲ繼續シ業ニ壹萬元支出方並ニ本總司令個人トシテ貳千元ヲ送ルコトヲ承認致候次第ニ有之第

六条ノ会社損害ニ就テハ是又交渉員ト貴領事トニ於テ損害査定額ノ分別刪減方ニ関シニ度々商議ヲ重ねリ候モ其後湘鄂間ニ戰事發生セシ為談判中止シ因テ久シク御回答遷延致候段御有怨相成度候本總司令ハ該案ニ対シ誠意ヲ以テ

十一月二十一日

趙恒惕

三七八 十二月二十四日 在長沙池水領事ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

大津弔慰金増額ノ見込ナキ旨報告ノ件

(十二月二十五日接受)

大津弔慰金ニ関シテハ其後度々交渉シタル処昨二十三日仇

交渉員來訪一旦一千元也ヲ増加スルモ此ノ上ノ増加ハ目下

ノ処困難ナルヲ以テ今暫ク時期ヲ待ツ様申述ハ當方希望ノ

通り急ニ解決スル模様ナシ

明年一月一日当省憲法發布セラルルヲ（脱）官ニ異動アラ

ン  
在支公使漢口へ転電セリ

三七九 十二月三十一日 在長沙池永領事宛（電報）

大津弔慰金引上ノ為尽力方回訓ノ件

貴電第八八号ニ關シ（交渉員來訪一旦一千元也ヲ増加スルモ云々）トアリ電文ノ意義聊カ明確ヲ欠クモ支那側ニ於テハ曩ニ申出デタル支払額一万二千元ノ外ニ更ニ一千元增加ノ意向ヲ示シタルヤニ看取セラルル処果シテ然リトセハ先方ニ於テモ多少我方要求ニ歩ミ寄り本件ヲ解決セントスルノ意思アルモノト推察セラルニ付貴官ハ此際先方ヲ漸次当方ノ要求額ニ引寄スル様更ニ一段ノ御尽力アリタシ

北京漢口へ転電アリタシ

## 事項一〇 湖北省宜昌ニ於ケル日本側被害一件

三八〇 五月二十日 在中國吉田臨時代理公使ヨリ

内田外務大臣宛  
館ノ「エイド・メモアール」モ別紙写ト同意味ニ有之候此段申進候也

宜昌事件ノ損害並賠償方措置ニ付外交總長ニ

口上書手交ノ件

（五月二十六日接受）

口上書

機密第一五一號

大正十年五月二十日

在支那

臨時代理公使 吉田 伊三郎（印）

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

（別 紙）

口上書

大正十年五月十日本代理公使ハ在北京英米両國公使館各代

表者ト同伴兩湖巡閱使兼湖北督軍王占元閣下ト會見シ大正

九年十一月二十九日及三十日ニ亘リ湖北省宜昌ニ於テ發生

シタル責國軍隊ノ兵変掠奪ノ為日英米國商民ノ蒙リタル損

害事件ノ善後措置ニ關シ商議スル所アリタルガ当日会談ノ結果トシテ王督軍ハ本官等ニ対シ在漢口外交部特派員並在

宜昌海關監督ヲ同督軍ノ特別派遣員ニ任命シ漢口並宜昌ニ

於ケル日英米各關係總領事並領事ト立会ノ下ニ前記兵變掠

奪ノ際各關係國商店及個人ニ蒙ラシタル損害ヲ調査シ且

ツ其各事件損害額賠償方商定ニ至ラシムヘキコトヲ承諾セ

ラレタリ依テ本代理公使ハ前記会談ノ次第ニ基キ在漢口並

宜昌帝國總領事領事ニ對シ前記貴國官憲トノ間ニ帝國商店